

# SST 指導略案

## 1. 題材

「プリーズゲーム」

## 2. ねらい

- ・ゲームを通して、それぞれのターゲットスキルを身に付ける。
- ・やり取りの基本となる言葉を覚え、人の話を聞くことの大切さを実感する。

## 3. ターゲットスキルと本時でねらうスモールステップ

対象	ターゲットスキル	スモールステップ（ミッション）
	わからないことを質問できる	相手に聞こえる声でたずねたり，答えたりする。
	悔しさや怒りを言葉で伝える	相手に聞こえる声でたずねたり，答えたりする。

## 4. 本時の展開

	○活動	・留意点
ふりかえり	○学級や家庭のどのような場面で，学んだスキルを用いることができたかを話し合う。 <div style="display: flex; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <div style="flex: 1; padding: 2px;">①相手の方に向けて ②相手の目を見て ③最後まで聞く。</div> <div style="flex: 1; padding: 2px;">相手に聞こえる声でたずねたり，答えたりする。</div> </div>	・【褒める】ための活動です。
教示	○本時の活動でのねらいと各自のターゲットスキルを確認する。	・これまでに進めてきたミッションを応用した形であることに気づくようにする。
モデリング	○「プリーズゲーム」のルールを知り，どのように尋ね，答えればよいかを知る。  ○話型に沿って話し方を練習する。	・話型を提示し，話型の通りに進めればよいことを演示する。 ・示した話型だけでなく，他のたずね方や答え方でもよいことを伝える。  ・これまでに学習してきた“相手の方を見て”等も意識できるとよい。
リハーサル	○「プリーズゲーム」を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">準備</div> トランプカード 動物カード 幾何学模様カード 等 2枚1組となっているもの 仕切り	・話型をすぐに見られるようにしておく。 ・必要に応じて，聞き直し（もう1度言ってください）を促すようにする。
フィードバック	○それぞれの良かったところを振り返る。	・可能であれば児童にも発言させるようにする。
般化	○学んだスキルを次の1週間でどれぐらい使いたいか，目標を立てる。	

### ゲームルール

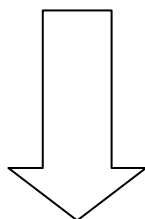
- ①カードを配り，順番を決める。1番の人から時計回りに進める。
- ②自分の番が来たら，まずお願いする人（そろえたい数字や絵柄を持っていそうな人）を決め，たずねる。（例）「〇〇さん，3を持っていますか」
- ③お願いされた人は持っていたら「はい，どうぞ」とカードを手渡し，持っていなかったら「持っていないません」と答える。
- ④カードをもらえたら「ありがとう」と言い，同じカードが2枚そろったら場に捨てる。もらえなかったら「わかりました」という。
- ⑤手持カードが早くなくなった人の勝ち。

この活動で同時に育成が可能と思われるターゲットスキル

コミュニケーション スキル	聞く	(32)	先生や友だちの話を集中して聞ける	○
		(33)	先生の話や友だちの発表の内容を理解できる	○
		(34)	聞かれたことに対してきちんと答えることができる	○
	話す	(35)	言葉たらずでなく, 話すことができる	○
		(36)	物事を順序だてて説明することができる	
		(37)	人前で適切に発表やスピーチをできる	○
	アサーション	(38)	わからないことは質問できる	○
		(39)	集団に向かって自分の考えを述べるができる	○
		(40)	いやなことははっきりことわることができる	○
		(41)	くやしさを怒りを言葉で伝えることができる	
	話し合い	(42)	話し合いの内容に沿った発言ができる	○
		(43)	決まった意見に従うことができる	○
		(44)	意見がまとまらないときに, 意見をまとめる方法を提案できる	
		(45)	指名されたら, 議長や進行役などのまとめ役を行うことができる	
		(46)	話し合いにおいて全体の意見を参考にしながら結論を出すことができる	

プリーズゲーム 話し方の例

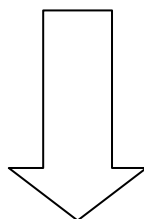
〇〇さん, ( ) を もっていますか。



○ もっている

はい, どうぞ

ありがとう



× もっていない

いいえ, もっていません

わかりました